

成果指標				
成果指標	相談件数			
指標設定の考え方	高齢者への事業内容等の周知を図ることにより、積極的な事業活用を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100件	100件	100件	0
実績	103件	90件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>昨年度より相談件数が減っているが、高齢者の様々な悩み事に対し、専門的な立場から適切な助言、指導等を行うことにより、相談者の不安や疑問を解消し安心した生活を送るために役立っている。今後も事業の継続は必要であるが、一般相談よりは、弁護士や行政書士などへの相談が多いため、相談開設日や事業内容の見直し等について委託先の社会福祉法人と協議していく必要があるのではないか。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>同事業は、高齢者の様々な悩み事に対し、専門的な立場から適切な助言、指導等を行うことにより、相談者の不安や疑問を解消し安心した生活を送るために役立っている。自己評価者の意見のとおり、今後も事業の継続は必要であるが、相談件数が減少しており、PR方法、相談日等検討する必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	